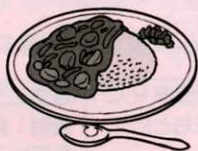


した。疲労が増すとイライラして暴言・暴力・拘り等の不適応行動が増えやすい彼らにとって、休憩時間は必須です。それでも「さあ、今から〇分休憩しましょう」と職員が声かけをしても、他児にちょっかいをかけたかたり気分を落ち着かせることができない子どももいました。そこで、「まず人に当たらないように手を広げて仰向けに寝ましょう。そして、目を閉じましょう。」という声かけから、真似をしながら休憩のとりかたを練習し、イライラ状態から気分転換できる方法の一つを学ぶことができました。また、職員も疲労がたまった際に「気分を落ち着かせてきます」と他の職員に伝え、場を離れることで後により良い指導ができ、またその姿を子ども達へ見せることでよいモデルになった一コマもありました。

《A君の例～ちょっと食べてみようかな》

入院後より食欲が無く痩せてしまい、いろいろな手法で食事指導に取り組んできたA君。「キャンプ場では環境も変わるし、皆と共同のご飯が食べられるだろうか？」と職員は心配していました。しかし、当日は活動量も多く、自ら参加して食事を作っていたことも幸いし、たくさん食べることができました。さらに嫌いで食べられないものも、雰囲気につられて口にすることができました！



学園から遠く離れた山里での2泊3日。野外での子どもたちは、イキイキと昆虫探しや川遊びを楽しみ、暴力などの問題行動は減り、病棟生活では見られない姿をみせてくれました。その姿は、暦年齢より少し幼い印象で、とてもほほえましい限りでした。このキャンプでは、通常の治療では不可能な時間の活用、濃密な関わりを意図しましたが、それに加えて自然の中で過ごせたことが相乗的に治療効果として結実したと思います。学童期の発達課題の一つは、社会的行動規範（いわゆる躰）の獲得であり、自立プロセスの入り口に立っているとも言われています。それらを可能にするには、“愛着者の期待に添いたい”という子どもの気持ちが重要になります。われわれは子どもたちに“なりたい自分の夢”を具現化できる希望を持たせ、どうすればそれが出来るかを教え、育てていく視点で治療療育を進めていくことの認識を新たにしました。



外来診療のご案内

平成17年9月より下記の通り変更になりました。

曜日	月	火	水	木	金
1 診	中島	西田	中野	小泉	西田
2 診	小泉	中西	石田	中西	中野
3 診	/	中島	/	/	/

- * 診察は完全予約制です。
- * 初めての方の診察は午前のみで、予約制です。

● 予約電話番号
059-234-9700

● 院外処方のお知らせ ●

厚生労働省が推進する医薬分業の方針に基づいて、平成17年11月1日よりお薬の処方原則として、『院外処方箋』とさせていただきます。皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。